

# 製品安全データシート(SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : ベースバインダー ライト #2  
会社名 : 株式会社クォーツテクニカ  
住所 : 兵庫県灘区船寺通1-7-12  
担当部門 : 技術開発部  
電話 : 078-200-4508  
FAX : 078-200-4509  
緊急連絡先 : 078-200-4508  
作成日 : 2010年3月10日  
改訂日 : 2016年5月12日

## 2. 危険有害性の要約

分類の名称 : 分類の基準に該当しない  
危険性 : 特別な危険性は報告されていない。  
有害性 : 特別な危険性は報告されていない。  
環境影響 : 環境への影響は報告されていない。

## 3. 組成、成分情報

単一/混合物 : 混合物製品

化学物質名	含有量	化学式 又は構造式	化審法	安衛法	CAS番号
酸化アルミニウム	40%~45%	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	1-23	190	1344-28-1
灯油	15%~20%		9-1702	12-140	647421-81-0
添加剤	2%~5%				
活性剤	2%~5%				
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル	0.01%~0.1%				

## 4. 応急措置

### [吸入した場合]

- ・ 蒸気、ガスを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける

### [皮膚に付着した場合]

- ・ 付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・ 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。
- ・ 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。

### [目に入った場合]

- ・ 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
- ・ 出来るだけ速く医師の診断を受ける。

### [飲み込んだ場合]

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
- ・ 嘔吐物は飲み込ませない。
- ・ 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の措置

### [消火剤]

水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

### [特定の消火方法]

- ・ 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
- ・ 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- ・ 指定の消火剤を使用する。
- ・ 高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。
- ・ 消火活動は風上より行う。

---

## 6. 漏出時の措置

- ・ 作業際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・ 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 付着物、廃棄物などは関係法規にもとづいて処置をする。
- ・ 付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・ 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- ・ 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### [取扱い]

- ・ 換気の良い場所で取り扱う。
- ・ 容器はその都度密栓する。
- ・ 使用済ウエス、スプレーダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。
- ・ 周辺で火気、スパーク、高湿物の使用を禁止する。

### [保管]

- ・ 日光の直射を避ける。
- ・ 通風のよいところに保管する。
- ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。

---

## 8. 暴露防止及び保護措置

### [設備対策]

作業着が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を用いる。

### [保護具]

- |        |   |
|--------|---|
| 保護眼鏡   | : 取扱いには保護メガネを着用する。  |
| 保護手袋   | : 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を付けること。<br>また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。<br>有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。 |
| 呼吸用保護具 | : 適切なマスクを使用する。  |
| 保護衣    | : 状況に応じ、前掛け、長靴等。  |

---

## 9. 物理的及び化学的性質

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 外観等                  | : 乳白色粘稠な液体      |
| pH                   | : 8.7±0.5       |
| 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲 |                 |
| 沸点                   | : 情報を有していない。    |
| 融点                   | : 情報を有していない。    |
| 初留点                  | : 情報を有していない。    |
| 引火点                  | : 十分な情報を有していない。 |
| 発火点                  | : 210°C(参考値)    |
| 爆発特性                 |                 |
| 爆発限界(上限)             | : 情報を有していない。    |
| 爆発限界(下限)             | : 情報を有していない。    |
| 蒸気圧                  | : 情報を有していない。    |
| 蒸気密度                 | : 情報を有していない。    |
| 密度(比重)               | : 1.35±0.05     |
| 溶解度                  | : 情報を有していない。    |

---

## 10. 安定性及び反応性

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| 可燃性       | : 知見なし。            |
| 発火性       | : 知見なし。            |
| 酸化性       | : 知見なし。            |
| 自己反応性・爆発性 | : 知見なし。            |
| 粉じん爆発性    | : 知見なし。            |
| 安定性・反応性   | : 通常の手扱い条件においては安定。 |

## 11. 有害性情報

皮膚腐食性	: 知見なし。
刺激性(皮膚、眼)	: 知見なし。
感作性	: 知見なし。
急性毒性	: 知見なし。
亜急性毒性	: 知見なし。
慢性毒性	: 知見なし。
がん原性	: 知見なし。
変異原性	: 知見なし。
生殖毒性	: 知見なし。
催奇形性	: 知見なし。
その他	: 特別な有害性は報告されていない。

## 12. 環境影響情報

環境影響情報	: 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
分解性	: 知見なし。
蓄積性	: 知見なし。
魚毒性	: 知見なし。

## 13. 廃棄上の注意

- ・ 廃棄物は、許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- ・ 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

## 14. 輸送上の注意

### [共通事項]

- ・ 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
- ・ 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

### [陸上輸送]

- ・ 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従う。

### [海上輸送]

- ・ 船舶安全法に定めるところに従う。

### [航空輸送]

- ・ 航空法に定めるところに従う。

## 15. 適用法令

消防法	: 指定可燃物液体
労働安全衛生法	: 第57条の2
労働安全施工令	: 第18条の2(名称を通知すべき有害物質) <ul style="list-style-type: none"><li>・ 酸化アルミニウム(190)</li><li>・ 灯油(379)</li><li>・ モルホリン(602)</li></ul>
PRTR法(通知対象物質)	: ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(307)

## 16. その他の情報

### [引用文献]

- 日本塗料工業会 SDS作成ガイドブック  
※ 危険・有害性の評価は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、記載の

データや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実用性を対象としたものであって、特別な取扱いをする場合には用途・用法および状況に適した安全対策を実施の上、取扱いには十分に注意願います。

※ すべての化学製品には未知の危険性・有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。